

Cisco IP Phone 7961G/7961G-GE および 7941G/7941G-GE 電話ガイド for Cisco CallManager 4.2

(ライセンスおよび保証規定を含む)



電話機の一般的なタスク

電話機でオンラインヘルプを表示する	 を押します。
コールを発信する	番号をダイヤルする前後にオフフックにします。
番号をリダイヤルする	[リダイヤル] を押します。または、オンフックにしてナビゲーション ボタン を押し、発信履歴ログを確認します。
コール中にハンドセットを切り替える	ハンドセットを取り上げます。
コール中に、スピーカまたはヘッドセットに切り替えます。	 または  を押し、ハンドセットを置きます。
電話機をミュートにする	 を押します。
履歴を使用する	 を押し、履歴を選択します。ダイヤルするには、リストを強調表示し、オフフックにします。
番号を編集する	[編集] << または >> を押します。
コールを保留 / 復帰する	[保留] または [復帰] を押します。
コールを新しい番号に転送する	[転送] を押し、転送先の番号を入力してから、 [転送] をもう一度入力します。
標準の会議コールを開始する	[次へ] > [会議] を押し、参加者にダイヤルをしてから、再び [会議] を押します。



Cisco IP Phone 7961G/7961G-GE および 7941G/7941G-GE 電話ガイド for Cisco CallManager 4.2

ソフトキーの機能
電話スクリーンのアイコン
ボタン アイコン
電話機の一般的なタスク

ソフトキーの機能

短縮	短縮ダイヤルのインデックス番号を使用してダイヤルする
応答	コールに応答する
戻る	前のヘルプの項目に戻ります。
割込み	共有回線のコールに参加する
折返し	話し中または呼び出し中の内線が応対可能になったときに通知を受信する
キャンセル	変更内容を適用せずに、操作をキャンセルまたは画面を終了する
C 割込	共有回線のコールに参加し、会議を開催する
不在	コール転送を設定またはキャンセルする
クリア	レコードまたは設定を削除する
トジル	現在の画面を閉じる
参加者	会議の参加者を表示する
会議	会議コールを作成する
削除	編集機能を使用しているときに、カーソルの右側にある文字を削除する
詳細	不在履歴および着信履歴内の複数のコールに関する詳細コールレコードを開きます。
ダイヤル	番号をダイヤルする
D 転送	2 つのコールを相互に転送する
編集	履歴の電話番号を編集する
終了	現在のコールを切断する
削除	設定をデフォルトに戻す
終了	前の画面に戻る
G ピック	他のグループで呼び出し中のコールに応答する



Cisco, Cisco IOS, Cisco Systems, および Cisco Systems のロゴは、米国および一部の国における Cisco Systems, Inc. とその関連会社の登録商標です。このマニュアルまたは Web サイトで言及されているその他の商標はすべて、それぞれの所有者のものであり、「パートナー」という語の使用は、シスコと他社の提携関係を意味するものではありません。(0501R)

Copyright © 2006 Cisco Systems, Inc.
All rights reserved.

ハント	ハントグループからログアウトすることで、ハントグループ コールより電話機が呼び出されるのを防止する
即転送	ボイスメッセージシステムにコールを送信する
参加	複数のコールを 1 つの回線に加え、会議を開催する
ミーティング	Meet-Me 会議コールを開催する
次へ	その他のソフトキーを表示する
発信	新しいコールを発信する
他 Grp	関連付けられているグループで呼び出し中のコールに応答する
パーク	コールパークを使用してコールを保存する
ピック	グループ内のコールに応答する
品質	問題のあるコールに関する情報をシステム管理者に送信する
リダイヤル	最後にダイヤルした電話番号にリダイヤルする
サクジョ	会議の参加者を削除する
復帰	保留されたコールを復帰する
ドロップ	会議コールに最後に追加された参加者を削除する
保存	選択した設定を保存する
検索	ディレクトリのリストを検索する
選択	メニュー項目またはコールを選択する
転送	コールを転送する
更新	内容を更新する
ビデオ	ビデオ表示モードを選択する
<<	入力した文字を削除する
>>	入力した文字の上を移動する

電話スクリーンのアイコン

回線およびコールの状態

	コール転送が有効
	コールの保留
	接続コール
	オフフック
	オンフック
	コールの着信
	使用中の共有回線

安全なコール

	認証されたコール
	安全なコール

選択されたデバイス

	ハンドセットを使用中
	ヘッドセットを使用中
	スピーカフォンを使用中

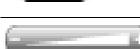
重要なコール

	プライオリティ コール
	プライオリティのやや高いコール
	プライオリティの高いコール
	プライオリティの最も高いコール

その他の機能

	短縮ダイヤル ボタンが設定済み
	メッセージ受信
	ビデオが有効
	選択されたオプション
	機能が有効

ボタン アイコン

	メッセージ
	サービス
	ヘルプ
	ディレクトリ
	設定
	音量
	スピーカ
	ミュート
	ヘッドセット



Contents

はじめに 1

このガイドの使用方法 1

詳細情報 2

電話機のカスタマイズに関する詳細情報の Web での参照 2

安全および使用における情報 3

アクセシビリティ機能 6

電話機の接続 7

電話機の概要 10

ボタンとハードウェアについて 11

電話スクリーンの機能について 15

電話スクリーンのクリーニング 16

機能ボタンおよびメニューについて 16

電話機に関するヘルプ システムについて 17

回線とコールの違いについて 18

回線とコールのアイコンについて 18

機能の Availability について 19

基本的なコール処理 20

コールの発信：基本的なオプション 20

コールを発信する：その他のオプション 21

コールへの応答 23

コールの終了 24

コールの保留と復帰 24

ミュートの使用	25
複数のコール間の切り替え	25
複数のコールの表示	26
コールの転送	26
別の電話番号へのすべてのコール転送	28
会議コールの使用方法	29
会議コールのタイプについて	29
標準の会議の開催と参加	30
Meet-Me 会議コールの開催または参加	32
応用的なコール処理	33
短縮ダイヤル	33
自分の電話機で他の電話機の着信に応答する	34
共有回線の使用	36
共有回線について	36
共有回線のコールへの参加	36
他者による共有回線のコールの表示および割り込みの防止	38
パークされているコールの保存と取得	39
安全なコールの送受信	40
不審なコールのトレース	41
重要なコールの優先順位付け	41
Cisco エクステンション モビリティの使用方法	43
ハント グループのログアウト	44
ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカフォンの使用方法	45
ヘッドセットの購入	46
自動応答の使用方法	46
電話機の設定の使用方法	47
呼出音およびメッセージ インジケータのカスタマイズ	47

電話スクリーンのカスタマイズ	48
履歴およびディレクトリの使用方法	50
履歴の使用方法	50
電話機の社内ディレクトリの使用方法	52
ボイス メッセージへのアクセス	53
ユーザ オプション Web ページへのアクセス	54
ユーザ オプション Web ページへのログイン	55
電話機サービスへの登録	56
その他の設定オプションについて	57
電話機のトラブルシューティング	59
一般的なトラブルシューティング	59
電話機の管理データの表示	60
Quality Reporting Tool の使用方法	60
シスコ製品（ハードウェア）に関する 1 年間の限定保証規定	61
索引	



はじめに

このガイドの使用方法

このガイドでは、電話機で使用可能な機能の概要について説明しています。電話機の機能について確実に理解するには、このガイドをよく読んでください。次の表に、よく使用される項目を示します。

目的	必要な操作または状態の説明
電話機について調べる	ヘルプが必要な場合は、  を押してください。
安全情報を参照する	P. 3 の「安全および使用における情報」を参照してください。
電話機を接続する	P. 7 の「電話機の接続」を参照してください。
設置後に電話機を使用する	P. 10 の「電話機の概要」を参照してください。
ボタンライトの意味について	P. 11 の「ボタンとハードウェアについて」を参照してください。
ディスプレイについて調べる	P. 15 の「電話スクリーンの機能について」を参照してください。
コールを発信する	P. 20 の「コールの発信：基本的なオプション」を参照してください。
コールを保留にする	P. 24 の「コールの保留と復帰」を参照してください。
ミュートにする	P. 25 の「ミュートの使用」を参照してください。
コールを転送する	P. 26 の「コールの転送」を参照してください。
会議コールを発信する	P. 29 の「会議コールの使用方法」を参照してください。
短縮ダイヤルを設定する	P. 33 の「短縮ダイヤル」を参照してください。
電話番号を共有する	P. 36 の「共有回線の使用」を参照してください。
電話機をスピーカフォンとして使用する	P. 45 の「ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカフォンの使用方法」を参照してください。
呼び出しの音量やトーンを変更する	P. 47 の「電話機の設定の使用方法」を参照してください。
不在履歴を表示する	P. 50 の「履歴およびディレクトリの使用方法」を参照してください。
ボイスメッセージを聞く	P. 53 の「ボイスメッセージへのアクセス」を参照してください。

目的	必要な操作または状態の説明
ソフトキーとアイコンの定義を確認する	このガイドの冒頭のクイックリファレンスカードを参照してください。

詳細情報

WWW 上の次の URL から、Cisco IP Phone の最新資料を入手することができます。

http://www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/product/voice/c_ipphon/index.htm

シスコの Web サイトには、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/>

また、シスコの Web サイトの各国語版へは、次の URL からアクセスできます。

http://www.cisco.com/public/countries_languages.shtml

電話機のカスタマイズに関する詳細情報の Web での参照

Cisco IP Phone は、社内のコンピュータなど、他のネットワーク デバイスと情報を共有することのできるネットワーク デバイスです。Cisco CallManager のユーザ オプション Web ページを使用すると、コンピュータで電話機サービスの設定とカスタマイズ、および電話機の機能や設定の制御を行うことができます。このガイドでは、これらの機能の概要を簡単に紹介しています。詳細な説明については、次の URL で『*Web での Cisco IP Phone のカスタマイズ*』を参照してください。

http://www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/product/voice/c_ipphon/index.htm

安全および使用における情報

次の安全上の注意事項をお読みになってから、Cisco IP Phone の設置と使用を始めてください。



警告

安全上の重要な注意事項

「危険」の意味です。人身事故を予防するための注意事項が記述されています。装置の取り扱い作業を行うときは、電気回路の危険性に注意し、一般的な事故防止策をとるよう努めてください。警告の各国語版を参照するには、各注意事項の番号と、装置に付属の「Translation Safety Warnings」の番号を照らし合せてください。ステートメント 1071

これらの注意事項を保管しておいてください。



警告

必ず、取り付け手順を読んでから、システムを電源に接続してください。



警告

この製品を廃棄処分する際には、日本国の法律および地方自治体の条例または規則に従ってください。



警告

雷の発生中は、システムでの作業、またはケーブルの接続や取り外しを行わないでください。



警告

感電事故を防ぐために、安全超低電圧 (SELV) 回路を電話網電圧 (TNV) 回路に接続しないでください。LAN ポートには SELV 回路があり、WAN ポートには TNV 回路があります。一部の LAN ポートと WAN ポートはいずれも、RJ-45 コネクタを使用しています。ケーブルを接続する場合には、注意してください。



注意

インライン電源の回路では、通信ケーブルを介して電流が供給されます。シスコが提供するケーブル、または 24 AWG 以上の通信ケーブルを使用してください。

外付け電源装置の使用

次の警告は、Cisco IP Phone を外付け電源装置と使用する場合に適用されます。



警告 この製品は、設置する建物に短絡（過電流）保護機構が敷設されていることが前提になっています。各相導体（すべての通電導体）に 120 VAC、15A（日本および米国）、または 240 VAC、10A（前記以外の国）以下のヒューズ、または回路ブレーカーが使用されていることを確認してください。



警告 この装置は、TN 電源システムを使用して動作するように設計されています。



警告 プラグとソケットは常に手を伸ばして利用できる状態にしておく必要があります。これは、プラグとソケットが主要な切断装置であるためです。



警告 電源装置は屋内に設置する必要があります。



注意 この製品では、シスコが指定する電源装置だけを使用してください。

停電

電話機で緊急サービスにアクセスできるかどうかは、電源が供給されている電話機に依存します。電源障害がある場合、電源が復旧するまで、利用および緊急コール サービスへのダイヤルは機能しません。電源の異常および障害が発生した場合は、装置のリセットまたは再設定をしてから、利用または緊急コール サービスへのダイヤルを行う必要があります。

外部デバイスの使用方法

次の情報は、Cisco IP Phone で外部デバイスを使用する場合に適用されます。

シスコでは、不要な Radio Frequency (RF; 無線周波数) および Audio Frequency (AF; 可聴周波数) がシールドされた高品質の外部デバイス (スピーカ、マイクロフォン、およびヘッドセット) の使用を推奨しています。

これらのデバイスの品質や、携帯電話および双方向ラジオなど他のデバイスとの間隔によっては、雑音が入ることもあります。その場合は、次のいずれかの方法で対処してください。

- RF または AF の信号源から外部デバイスを離す。
- RF または AF の信号源から外部デバイスのケーブルの経路を離す。
- 外部デバイス用にシールドされたケーブルを使用するか、シールドおよびコネクタが高品質のケーブルを使用する。
- 外部デバイスのケーブルを短くする。
- 外部デバイスのケーブルに、フェライトまたは同様のデバイスを適用する。

シスコでは、外部デバイス、ケーブル、コネクタの品質については制御できないため、システムパフォーマンスを保証することはできません。良品質のケーブルおよびコネクタを使用して適切なデバイスを接続すると、十分なシステムパフォーマンスを得られます。



注意

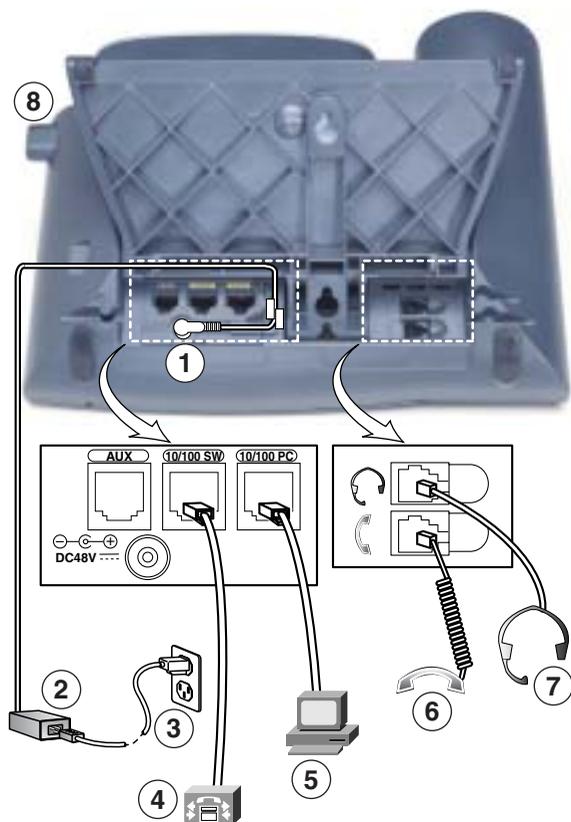
欧州連合諸国では、EMC Directive [89/336/EC] に完全に準拠した外部スピーカ、マイクロフォン、ヘッドセットだけを使用してください。

アクセシビリティ機能

アクセシビリティ機能のリストをご希望の場合は、お問い合わせください。

電話機の接続

通常は、システム管理者が新しい Cisco IP Phone を企業 IP テレフォニー ネットワークに接続します。それ以外の場合は、次の図および表を参照して、電話機を接続してください。



113656

1	DC アダプタ ポート (DC48V)	5	アクセス ポート (10/100 (/1000 ¹) PC)
2	AC-DC 電源装置	6	ハンドセット ポート
3	AC 電源コード	7	ヘッドセット ポート
4	ネットワーク ポート (10/100 (/1000 ¹) SW)	8	フットスタンド ボタン

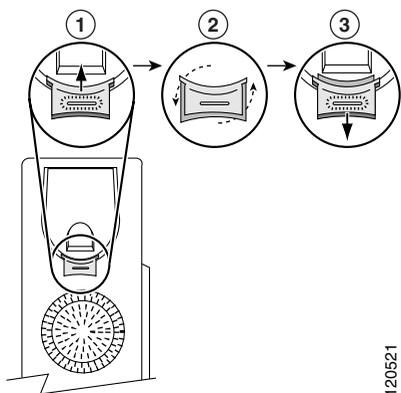
1. 使用可能なのは、ギガビットイーサネット電話機だけです。

フットスタンドの調節

机上の電話機本体の角度を変更するには、フットスタンド ボタンを押しながらフットスタンドを調節します。

ハンドセット受け台の調節

電話機を接続する際、ハンドセットが滑り落ちないように、受け台を調整することができます。次の表に手順を示します。



1	ハンドセットを外し、ハンドセットの受け台から四角いプラスチックのタブを引き出します。
2	タブを 180 度回します。
3	タブをハンドセットの受け台に再び差し込みます。回したタブの上部から突起が出ている状態になります。ハンドセットを受け台に戻します。

TAPS を使用した登録

電話機をネットワークに接続した後、システム管理者が Tool for Auto-Registered Phones Support (TAPS) を使用して電話機の自動登録を指示する場合があります。TAPS は、新しい電話機にも、既存の電話機を置き換える場合にも使用できます。

TAPS に登録するには、ハンドセットを取り上げて、システム管理者から提供された TAPS 内線番号を入力し、ボイス プロンプトに従います。地域コードを含む、完全な内線番号を入力するように指示される場合があります。電話機に確認メッセージが表示されたら、ハンドセットを置きます。電話機が再起動します。

ヘッドセットについて

ヘッドセットを使用するには、ヘッドセットを電話機の背面にあるヘッドセット ポートに差し込みます。

シスコシステムズでは、Cisco IP Phone で使用するサードパーティ製のヘッドセットについて社内でテストを実施していますが、ヘッドセットまたはハンドセットのベンダーによる製品の動作の保証やサポートは行っていません。Cisco IP Phone の展開場所では、環境やハードウェアによるそれぞれ固有の不整合が発生する場合がありますので、すべての環境に共通して適用できる「最良の」解決策を 1 つだけ見出すことは不可能です。ネットワークにヘッドセットを多数展開する前に、お客様の環境での使用に最適かどうか、それらのヘッドセットについてテストすることをお勧めします。

ヘッドセットの種類によっては、その機械上または電子上の特性が原因で、Cisco IP Phone ユーザとリモートで会話中の通話相手に、通話相手自身の声の反響が聞こえる場合があります。

シスコシステムズでは、不要な Radio Frequency (RF; 無線周波数) および Audio Frequency (AF; 可聴周波数) が遮蔽された高品質のヘッドセットなどの外部デバイスの使用を推奨しています。これらのデバイスの品質や、携帯電話および双方向ラジオなど他のデバイスとの間隔によっては、雑音が入ることもあります。詳細については、P. 5 の「外部デバイスの使用方法」を参照してください。

一部のヘッドセットが Cisco IP Phone での使用に適さないとされる主な理由は、ハム雑音が入る可能性があるということです。このハム雑音は、リモートの通話相手だけに聞こえる場合も、リモートの通話相手と Cisco IP Phone ユーザの両方に聞こえる場合もあります。ハム雑音やブザーのような雑音は、電灯、近辺にある電気モーター、大型の PC モニタなど、外部ソースに原因があることがあります。場合によっては、ユーザに聞こえるハム雑音は、ローカル電源キューブを使用することにより、軽減または除去が可能です。詳細については、P. 4 の「外付け電源装置の使用」を参照してください。

オーディオの品質におけるユーザの主観

物理的、機械的、および技術的なパフォーマンスより先に、まずヘッドセットによって提供される音が、ユーザとリモートの通話相手にとって良質のものである必要があります。音の品質の判断は主観的なものであるため、シスコでは、特定のヘッドセットやハンドセットのパフォーマンスを保証することはできません。ただし、次に示すサイトに記載されているヘッドセットやハンドセットは、Cisco IP Phone で使用した場合のパフォーマンスが優れていることが報告されています。

しかし、使用する環境でこれらの装置をテストし、適切なパフォーマンスが得られるかどうかを判断するのは、最終的にお客様ご自身の責任になります。

ヘッドセットについては、次の URL を参照してください。

<http://www.vxicorp.com/cisco>

<http://www.plantronics.com/cisco>

電話機の概要

Cisco IP Phone 7961G と 7961G-GE (ギガビットイーサネットバージョン) および 7941G と 7941G-GE (ギガビットイーサネットバージョン) は、コンピュータで使用するデータネットワークで音声通信を行うためのすべての機能が搭載された電話機です。この電話機を使用してコールの発信および受信、保留、短縮ダイヤル番号、転送、会議コールの開設などの機能を使用できます。ギガビットイーサネットバージョンの Cisco IP Phone 7961G-GE および 7941G-GE は、ギガビットイーサネット VoIP テレフォニーの最新テクノロジーを提供しています。Cisco IP Phone 7961G および 7961G-GE は、電話回線、機能、短縮ダイヤル番号、サービス用に 6 つのプログラマブル ボタンを提供し、Cisco IP Phone 7941G および 7941G-GE は、2 つのプログラマブル ボタンを提供します (詳細については、P. 11 の「ボタンとハードウェアについて」を参照してください)。

この電話機を使用すると、基本的なコール処理機能に加えて、コール処理機能を拡張し生産性を高めることができます。設定に応じて、この電話機では次のものをサポートします。

- ネットワーク データ、XML アプリケーションおよび Web ベースのサービスへのアクセス
- 電話機の機能のオンライン カスタマイズおよびユーザ オプション Web ページからのサービス
- 電話スクリーンに情報を表示する包括的なオンライン ヘルプ システム

ボタンとハードウェアについて

電話機のボタンとハードウェアの理解のために図 1 および図 2 を使用することができます。

図 1 Cisco IP Phone 7961G / 7961G-GE



2 Cisco IP Phone 7941G / 7941G-GE

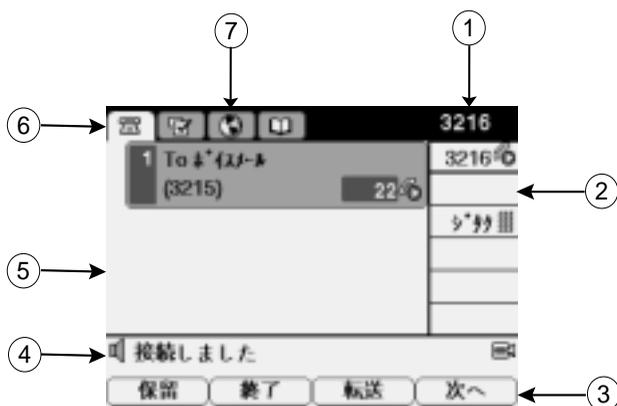


	項目	説明	参照先または問い合わせ先
1	プログラマブル ボタン 	設定に応じて、プログラマブル ボタンからは次にアクセスできます。 <ul style="list-style-type: none"> • 電話回線 (回線ボタン) • 短縮ダイヤル番号(短縮ダイヤル ボタン) • Web ベースのサービス(個人アドレス帳ボタンなど) • 電話機の機能(プライバシー ボタンなど) 表示されるボタンの色によって、回線の状態が次のように示されます。 <ul style="list-style-type: none">  緑、点灯：アクティブ コールです。  緑、点滅：コールは保留状態です。  オレンジ、点灯：プライバシー機能が使用中です。  オレンジ、点滅：コールが着信しています。  赤、点灯：リモート回線が使用中です。  赤、点滅：ダイレクト コールパーク回線は使用できません。 	<ul style="list-style-type: none"> • 電話スクリーンの機能について (P. 15) • 基本的なコール処理 (P. 20) • 短縮ダイヤル (P. 33) • 共有回線の使用 (P. 36) • パークされているコールの保存と取得 (P. 39)
2	電話スクリーン	電話機の機能を表示します。	電話スクリーンの機能について (P. 15)
3	フットスタンド ボタン	電話機本体の角度を調節します。	フットスタンドの調節 (P. 8)
4	メッセージ ボタン 	サービスによって異なりますが、ボイスメッセージ サービスに自動ダイヤルします。	履歴の使用法 (P. 50)
5	ディレクトリ ボタン 	[ディレクトリ]メニューを開閉します。履歴およびディレクトリにアクセスするために使用します。	履歴の使用法 (P. 50)

	項目	説明	参照先または問い合わせ先
6	ヘルプ ボタン 	[ヘルプ]メニューをアクティブにします。	電話機に関するヘルプ システムについて (P. 17)
7	設定ボタン 	[設定]メニューを開閉します。電話スクリーンのコントラストおよび呼出音を制御するために使用します。	電話機の設定の使用方法 (P. 47)
8	サービス ボタン 	[サービス]メニューを開閉します。	ユーザ オプション Web ページへのアクセス (P. 54)
9	音量ボタン 	ハンドセット、ヘッドセット、スピーカフォンの音量 (オフフック)、および呼出音の音量 (オンフック) を制御します。	ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカフォンの使用方法 (P. 45)
10	スピーカ ボタン 	スピーカフォンモードのオン/オフを切り替えます。スピーカフォンがオンになっているとき、ボタンは点灯しています。	ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカフォンの使用方法 (P. 45)
11	ミュート ボタン 	ミュート機能のオン / オフを切り替えます。ミュート機能がオンになっているとき、ボタンは点灯しています。	ミュートの使用 (P. 25)
12	ヘッドセット ボタン 	ヘッドセットモードのオン/オフを切り替えます。ヘッドセットがオンになっているとき、ボタンは点灯しています。	ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカフォンの使用方法 (P. 45)
13	ナビゲーション ボタン 	メニューのスクロールや項目の強調表示に使用します。電話機がオンフックのとき、発信履歴ログに含まれる電話番号を表示します。	履歴の使用方法 (P. 50)
14	キーパッド	電話番号のダイヤル、文字の入力、およびメニュー項目の選択に使用します。	基本的なコール処理 (P. 20)
15	ソフトキー ボタン 	各ボタンは、電話スクリーンに表示されているソフトキーのオプションをそれぞれアクティブにします。	電話スクリーンの機能について (P. 15)
16	ハンドセットのライトストリップ	着信コールまたは新しいボイス メッセージがあることを示します。	ボイス メッセージへのアクセス (P. 53)

電話スクリーンの機能について

次の図は、アクティブなコールと複数の機能メニューが開いているメインの電話スクリーンの概観を示しています。



1	プライマリ電話回線	プライマリ電話回線の電話番号（内線番号）を表示します。複数の機能タブが開いている場合は、電話番号、時刻、日付もここに表示されます。
2	プログラマブル ボタンのアイコン	プログラマブル ボタンには、電話回線ボタン、短縮ダイヤル ボタン、電話機サービスボタン、また電話機能ボタンとしての働きもあります。アイコンとラベルは、これらのボタンの設定状況を示します。アイコン リファレンスについては、このガイドの冒頭にあるクイック リファレンスカードの電話スクリーンのアイコンを参照してください。
3	ソフトキーのラベル	ソフトキーの機能をそれぞれ表示します。ソフトキーをアクティブにするには、ソフトキー ボタンを押します。
4	ステータス行	オーディオ モードのアイコン、ステータス情報、およびプロンプトを表示します。
5	コール アクティビティ領域	発信者 ID、通話時間、および標準の表示で強調表示されている回線のコールの状態など、回線ごとの現在のコールを表示します。P. 18 の「回線とコールのアイコンについて」および P. 26 の「複数のコールの表示」を参照してください。
6	電話タブ	コール アクティビティを示します。
7	機能タブ	各機能タブは、開いている機能メニューを示します。P. 16 の「機能ボタンおよびメニューについて」を参照してください。

電話スクリーンのクリーニング

電話スクリーンは、柔らかく乾いた布で軽く拭きます。電話機に液体や粉がかからないようにしてください。柔らかく乾いた布以外で拭くと、電話機の部品が汚れたり、故障したりする可能性があります。

機能ボタンおよびメニューについて

機能ボタンを押して、機能メニューの開閉を行います。

目的	必要な操作または状態の説明
機能メニューを開閉する	次の機能ボタンを押します。  メッセージ  サービス  ディレクトリ  設定  ヘルプ
リストまたはメニューをスクロールする	ナビゲーション ボタンを押します。
機能メニューの1つ前のレベルに戻る	[終了]を押します。メニューの最上位レベルで[終了]を押すと、メニューが閉じます。
開いている機能メニューを切り替える	機能タブを押します各機能メニューごとに、対応するタブがあります。機能メニューを開くと、対応するタブが表示されます。

電話機に関するヘルプ システムについて

Cisco IP Phone には、包括的なオンライン ヘルプ システムが備わっています。ヘルプの項目は電話スクリーンに表示されます。次の表に詳細を示します。

目的	必要な操作または状態の説明
メインメニューを表示する	電話機の  を押し、メニューが表示されるまで数秒待ちます。 メインメニューには、次の項目が含まれます。 <ul style="list-style-type: none">• Cisco IP Phone について：電話機に関する詳細な説明• 操作方法：電話機の一般的なタスクに関する手順• コール機能：コール機能に関する説明や手順• ヘルプ：ヘルプの使用やアクセスに関するヒント
ボタンやソフトキーを確認する	 を押してから、すぐにボタンまたはソフトキーを押します。
メニュー項目を確認する	 、  、または  を押して、機能メニューを表示します。メニュー項目を強調表示し、  をすばやく 2 回押します。
ヘルプを使用してヘルプを表示する	 を押します。メインメニューから [ヘルプ] を選択します。

回線とコールの違いについて

回線とコールについて混同しないために、次の説明を参照してください。

回線：回線は、他人が自分へのコールに使用できる電話番号（または内線番号）にそれぞれ対応しています。設定に応じて、Cisco IP Phone 7961G/7961G-GE は 1 ~ 6 本、Cisco IP Phone 7941G/7941G-GE は 1 ~ 2 本の回線をサポートします。電話機に割り当てられた回線の数は、電話スクリーンの右側で確認します。電話機の回線の数は、ディレクトリ番号と電話回線アイコン  の数と同じです。

コール：各回線では、複数のコールをサポートできます。デフォルトでは、電話機は 1 本の回線につき 4 つの接続コールをサポートしますが、システム管理者はこの数を必要に応じて調整できます。アクティブとなり得るコールは常に 1 つに限定されるので、他のコールはすべて自動的に保留状態になります。

回線とコールのアイコンについて

電話機には、コールと回線の状態の判断に役立つアイコンが表示されます。

アイコン	コールの状態	説明
	オンフック回線	この回線のコール アクティビティはありません。
	オフフック回線	電話番号のダイヤル中または発信コールの呼出音が鳴っている状態です。ダイヤルのオプションについては、P. 20 の「コールの発信：基本的なオプション」を参照してください。
	接続コール	通話相手に現在接続されている状態です。
	呼び出し中のコール	いずれかの回線で着信コールの呼出音が鳴っています。詳細については、P. 23 の「コールへの応答」を参照してください。
	コールの保留	コールが保留されています。
	リモートで使用中	共有回線の別の電話機に接続コールがあります。詳細については、P. 36 の「共有回線の使用」を参照してください。
	認証されたコール	P. 40 の「安全なコールの送受信」を参照してください。
	暗号化されたコール	P. 40 の「安全なコールの送受信」を参照してください。

機能のアベイラビリティについて

電話機のシステム設定によって、この電話ガイドに記載されている機能がご使用の電話機で利用できない、または動作が異なる場合があります。操作方法や機能のアベイラビリティについて確認する場合は、お客様の社内のサポート デスクまたはシステム管理者にお問い合わせください。

基本的なコール処理

機能やサービスを使用する基本的なコール処理を実行することができます。機能の Availability が異なる場合、詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

コールの発信：基本的なオプション

次に、Cisco IP Phone でコールを発信する簡単な方法を紹介します。

目的	必要な操作または状態の説明	参照先または問い合わせ先
ハンドセットを使用してコールを発信する	ハンドセットを取り上げて、番号を入力します。	電話機の概要 (P. 10)
スピーカフォンを使用してコールを発信する	 を押して、番号を入力します。	ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカフォンの使用方法 (P. 45)
ヘッドセットを使用してコールを発信する	 を押して、番号を入力します。または、  が点灯している場合、[発信] を押し、番号を入力します。	ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカフォンの使用方法 (P. 45)
番号をリダイヤルする	[リダイヤル] を押し、最後の番号をダイヤルするか、または、電話機がアイドルの状態ではナビゲーションボタンを押し、発信履歴を参照します。	履歴の使用方法 (P. 50)
別のコールがアクティブなときにコールを発信する (同じ回線を使用)	<ol style="list-style-type: none">[保留] を押します。[発信] を押します。番号を入力します。	コールの保留と復帰 (P. 24)
履歴からダイヤルする	<ol style="list-style-type: none"> > [不在履歴] [着信履歴] または [発信履歴] を選択します。リストの番号を選択するかまたはスクロールして選択し、オフフックにします。	履歴の使用方法 (P. 50)

ヒント

- ダイヤルトーンを聞かずにオフフックでダイヤルできます（プレダイヤル）。プレダイヤルするには、番号を入力してから、ハンドセットを取り上げるか、[ダイヤル] または を押して、オフフックにします。
- プレダイヤルする場合、この電話機には、発信履歴ログが利用可能な場合、そこから一致する電話番号を表示し、ダイヤルしている番号を前もって示す機能があります。これは自動ダイヤルと呼ばれます。自動ダイヤルを使用し、表示された番号をコールするには、番号を押すか、または番号をスクロールしてオフフックにします。
- 間違ってダイヤルした場合は、<<を押して、数値を消去します。

コールを発信する：その他のオプション

この電話機で利用可能な特別な機能やサービスを使ってコールを発信することができます。これらのその他のオプションについての詳細は、システム管理者にお問い合わせください。

目的	必要な操作または状態の説明	参照先または問い合わせ先
別のコールがアクティブなときにコールを発信する（異なる回線を使用）	<ol style="list-style-type: none">新しい回線で を押します。最初の回線のコールが自動的に保留状態になります。番号を入力します。	コールの保留と復帰（P. 24）
短縮ダイヤルを使用する	次のいずれかの操作を実行します。 <ul style="list-style-type: none">（短縮ダイヤル ボタン）を押します。固定短縮ダイヤル機能を使用します。ファースト ダイヤル機能を使用します。	短縮ダイヤル（P. 33）
電話機の社内ディレクトリからダイヤルする	<ol style="list-style-type: none"> > [シャナイディレクトリ] を選択します（名前は異なる場合があります）。名前を入力して[検索]を押します。リストを強調表示し、オフフックにします。	履歴の使用法（P. 50）

目的	必要な操作または状態の説明	参照先または問い合わせ先
Cisco WebDialer を使用し、社内ディレクトリからダイヤルする	<ol style="list-style-type: none"> 1. Web ブラウザを起動して、WebDialer が有効な社内ディレクトリのページへ移動します。 2. ダイヤルする番号をクリックします。 	『Web での Cisco IP Phone のカスタマイズ』 http://www.cisco.com/univercd/cc/tdd/doc/product/voice/c_ipphon/index.htm
話し中または呼び出し中の内線が対応可能になったときに、Cisco CallBack を使用して通知を受信します。	<ol style="list-style-type: none"> 1. ビジー音または呼出音が聞こえているときに、[折返し]を押します。 2. 切断します。回線がフリーの状態のときは、電話機により通知されません。 3. 再びコールを発信します。 	システム管理者
プライオリティ (Precedence) コールをかける	MLPP アクセス番号を入力し、電話番号を入力します。	重要なコールの優先順位付け (P. 41)
Personal Address Book (PAB; 個人アドレス帳) のエントリからダイヤルします。	<ol style="list-style-type: none"> 1.  > PAB service を選択します (名前は異なる場合があります)。 2. リストを強調表示し、オフフックにします。または、タッチスクリーンでリストを押します。 	ユーザ オプション Web ページへのログイン (P. 55)
課金コードまたはトラッキングコードを使用してコールを発信する	<ol style="list-style-type: none"> 1. 番号をダイヤルします。 2. トーンの後、CMC (Client Matter Code) または FAC (Forced Authorization Code) コードを入力してから番号をダイヤルする必要があります。 	システム管理者
Cisco エクステンション モビリティ プロファイル を使用してコールを発信する	電話機のエクステンション モビリティ サービスにログインします。	Cisco エクステンション モビリティの使用法 (P. 43)

コールへの応答

ハンドセットを取り上げて、コールに応答することができます。または、電話機のその他のオプションが利用可能な場合、それらを使用することができます。

目的	必要な操作または状態の説明	参照先または問い合わせ先
ヘッドセットで応答する	<p> が点灯していない場合は、押します。</p> <p> がすでに点灯している場合は、[応答] または  (点滅している回線ボタン) を押します。</p>	ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカフォンの使用方法 (P. 45)
スピーカフォンで応答する	 、 [応答] 、または  (点滅) を押します。	ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカフォンの使用方法 (P. 45)
接続コールから切り替えて新しいコールに応答する	[応答] を押すか、別の回線でコールの呼出音が鳴っている場合は、  (点滅) を押します。	コールの保留と復帰 (P. 24)
コール ウェイティングを使用して応答する	[応答] を押します。	コールの保留と復帰 (P. 24)
ボイス メッセージ システムにコールを送信する	[即転送] を押します。	ボイス メッセージへのアクセス (P. 53)
自動接続コール	自動応答を使用します。	自動応答の使用方法 (P. 46)
別の電話機でパークされたコールを取得する	コール パーク、またはダイレクトコール パークを使用します。	パークされているコールの保存と取得 (P. 39)
電話機を使用して、他の場所で呼び出し中のコールに応答する	コール ピックアップを使用します。	自分の電話機で他の電話機の着信に応答する (P. 34)
プライオリティ コールに応答する	現在のコールを切断して [応答] を押します。	重要なコールの優先順位付け (P. 41)

コールの終了

コールを終了するには、切断します。次の表に詳細を示します。

目的	必要な操作または状態の説明
ハンドセットを使用しているときに切断する	ハンドセットを受け台に戻します。または【終了】を押します。
ヘッドセットを使用しているときに切断する	 を押します。ヘッドセットモードをアクティブに保持する場合は、【終了】を押します。
スピーカフォンを使用しているときに切断する	 または【終了】を押します。
複数のコールがある場合に1つのコールだけを切断する	【終了】を押します。必要に応じて、コールの保留を解除しておきます。

コールの保留と復帰

アクティブとなり得るコールは常に1つに限定されるので、他のコールはすべて自動的に保留状態になります。

目的	必要な操作または状態の説明
コールを保留にする	<ol style="list-style-type: none">保留状態にするコールが強調表示されていることを確認します。【保留】を押します。
現在の回線にあるコールの保留を解除する	<ol style="list-style-type: none">該当するコールが強調表示されていることを確認します。【復帰】を押します。
別の回線にあるコールの保留を解除する	該当する回線で  を押します。 この回線で保留になっているコールが1つの場合、コールは自動的に復帰します。複数のコールが保留の場合、該当するコールをスクロールし、【復帰】を押します。

ヒント

- コールが保留状態になっているとき、通常は音楽やビープ音が流れます。
- 保留状態のコールは、保留アイコン  で示されます。

ミュートの使用

ミュートが有効な場合、コールの通信相手からの音声は聞こえますが、自分からの音声は通信相手に聞こえません。ハンドセット、スピーカフォン、またはヘッドセットと連動してミュートを使用できます。

目的	必要な操作または状態の説明
ミュートをオンにする	 を押します。
ミュートをオフにする	 を押します。

複数のコール間の切り替え

1 本または複数の回線で複数のコールを切り替えることができます。切り替え先のコールが自動的に強調表示されない場合は、ナビゲーション ボタンを使用してそのコールまでスクロールします。

目的	必要な操作または状態の説明
同じ回線のコールを切り替える	<ol style="list-style-type: none">切り替えるコールが強調表示されていることを確認します。[復帰] を押します。 アクティブ コールは保留状態になり、選択されたコールは復帰します。
異なる回線のコールを切り替える	切り替え中の回線で  を押します。 この回線で保留になっているコールが 1 つの場合、コールは自動的に復帰します。複数のコールが保留の場合、該当するコールを強調表示し、[復帰] を押します。
接続コールから切り替えて呼び出し中のコールに応答する	[応答] を押すか、別の回線でコールの呼出音が鳴っている場合は、  を押します。アクティブ コールは保留状態になり、選択されたコールは復帰します。

複数のコールの表示

電話機に複数のコールを表示する方法を理解することで、コール処理の計画に役立ちます。

標準表示モードで、この電話機は、次のように強調表示されている回線でコールを表示します。

- 優先順位が最も高く、通話時間の最も長いコールがリストの先頭に表示されます。
- 同じタイプのコールは、グループ化されて表示されます。たとえば、相互に通話したコールは先頭付近に、そして保留状態のコールは末尾付近にグループ化されます。

次に示すその他の方法を利用し、複数の回線の複数のコールを表示できます。

目的	必要な操作または状態の説明
別の回線のコールを表示する	<ol style="list-style-type: none">1.  を押します。2. すぐに回線ボタン  を押します。
回線のアクティビティを表示する (回線ごとに1つのコール)	<p>強調表示されている回線で  を押します。</p> <p>電話機がコールの概要モードに切り替わり、回線ごとに1つのコールだけが表示されます。表示されているコールは、アクティブなコール、または通話時間の最も長い保留中のコールのいずれかです。</p> <p>標準の表示に戻るには、 を押してから、すぐに回線ボタンを押します。</p>

コールの転送

接続コールは転送によってリダイレクトされます。転送先は、コールの転送先となる電話番号です。

目的	必要な操作または状態の説明
転送先の相手と会話せずに コールを転送する	<ol style="list-style-type: none">1. アクティブコールから、[転送]を押します。2. 転送先の番号を入力します。3. [転送]を再び押して転送を完了するか、[終了]を押してキャンセルします。 <p> (注) 電話機がオンフック転送をサポートしている場合は、切断することによって交互に転送を完了することができます。</p>

目的	必要な操作または状態の説明
転送先の相手と会話してからコールを転送する(打診転送)	<ol style="list-style-type: none"> 1. アクティブコールから、[転送]を押します。 2. 転送先の番号を入力します。 3. 相手が応答するのを待ちます。 4. [転送]を再び押して転送を完了するか、[終了]を押してキャンセルします。 <p> (注) 電話機がオンフック転送をサポートしている場合は、切断することによって交互に転送を完了することができます。</p>
通信を継続しないで、2つの現在のコールを相互に転送する(直接転送)	<ol style="list-style-type: none"> 1. その回線における任意のコールをスクロールして強調表示します。 2. [選択]を押します。 3. 2番目のコールに対しても同じ処理を行います。 4. 選択したコールの1つが強調表示されている状態で[D転送]を押します([D転送]を表示するために、必要に応じて[次へ]を押します)。 <p>2つのコールが相互に接続され、自分のコールは終了されます。</p> <p> (注) 発信者との通信を継続する場合は、代わりに[参加]を使用します。</p>
ボイスメッセージシステムにコールをリダイレクトする	<p>[即転送]を押します。コールがボイスメッセージグリーティングに自動転送されます。アクティブ、呼出中、または保留中であるコールで即転送を使用できます。</p>

ヒント

- 電話機のオンフック転送が有効になっている場合は、切断してコールを完了するか、**[転送]**を押してから切断することができます。
- 電話機のオンフック転送が有効でない場合は、**[転送]**を再び押さずに、切断することで、コールを保留にします。
- **[転送]**を使用して保留中のコールをリダイレクトすることはできません。**[復帰]**を押して、転送前にコールの保留を解除してください。

別の電話番号へのすべてのコール転送

[不在]を使用すると、自分の電話機にかかってくる着信コールを別の電話番号にリダイレクトできます。

目的	必要な操作または状態の説明
プライマリ回線のコール転送を設定する	[不在]を押し、転送先の電話番号を入力します。
プライマリ回線のコール転送をキャンセルする	[不在]を押します。
プライマリ回線のコール転送が有効になっているかどうかを確認する	確認： <ul style="list-style-type: none">プライマリ電話番号にコール転送アイコン  が表示されていることを確認します。ステータス行でのコール転送の転送先番号
プライマリでない回線のコール転送をリモートで設定またはキャンセルする	<ol style="list-style-type: none">ユーザ オプション Web ページにログインし、デバイスを選択します。[すべてのコールを別の番号に転送]を選択します。ご使用のプライマリ回線、またはセカンダリ回線を選択します。選択して、ボイス メッセージ、または別の番号へコールをリダイレクトします。



(注) コール転送がプライマリ回線以外で有効になっている場合、電話機にはコール転送の状態が表示されません。その代替りとして、ユーザ オプション ページで設定を確認する必要があります。P. 55 の「ユーザ オプション Web ページへのログイン」を参照してください。

ヒント

- コール転送の転送先番号は、自分の電話機からダイヤルする場合とまったく同じように入力する必要があります。たとえば、必要に応じてアクセスコードや地域コードをダイヤルします。
- 従来のアナログ電話機、または他の IP Phone にコールを転送することができます。ただし、システム管理者がコール転送機能を社内の番号に制限している場合があります。
- この機能は回線ごとに設定する必要があります。コール転送が有効でない回線にコールがかかってきた場合、通常どおりコールの呼出音が鳴ります。

会議コールの使用方法

Cisco IP Phone では、3 名以上を 1 台の電話機の会話に参加させ、会議コールを作成できます。

会議コールのタイプについて

会議コールには、標準の会議と Meet-Me 会議の 2 つのタイプがあります。

標準の会議コール

電話機のソフトキーが使用可能である場合、必要に応じて、複数の方法で標準の会議を開催できます。

- **[会議]**: このソフトキーは、参加者それぞれにコールをかけることによって、標準の会議を開催するときに使用します。標準の会議コールは、ほとんどの電話機で利用可能なデフォルトの機能です。
- **[参加]**: このソフトキーは、すでに同じ 1 本の回線にある複数のコールに参加することにより、標準の会議コールを開催するときに使用します。
- **[C 割込]**: このソフトキーは、共有回線の既存のコールに自分を追加し、そのコールを標準の会議コールに切り替えるときに使用します。この機能は、共有回線を使用する電話機だけに利用可能です。

手順の詳細については、P. 30 の「標準の会議の開催と参加」を参照してください。

Meet-Me 会議コール

指定された時間に Meet-Me 電話番号にコールを発信して、Meet-Me 会議を開催できます。

手順の詳細については、P. 32 の「Meet-Me 会議コールの開催または参加」を参照してください。

標準の会議の開催と参加

標準の会議では、1つのコールに3名以上の人々が参加できます。

目的	必要な操作または状態の説明
<ul style="list-style-type: none"> 参加者にコールを発信して会議を開催する 既存の会議に新しい参加者を追加する 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 接続コールから、[会議] を押します。(必要に応じて、[会議] を表示するために [次へ] ソフトキーを押します)。 2. 参加者の電話番号を入力します。 3. コールの接続を待ちます。 4. [会議] を再び押して、新しい参加者をコールに追加します。 5. この操作を繰り返して、参加者を1人ずつ追加します。
<p>2つ以上の既存のコールに参加することにより、会議を開催する</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 1つの回線に2つ以上のコールがあることを確認します。 2. 会議に追加するコールを強調表示します。 3. [選択] を押します。 コールを選択すると、<input checked="" type="checkbox"/>のアイコンが表示されます。 4. 追加するすべてのコールについて、それぞれ同じ処理を行います。 5. 選択したコールのいずれかで、[参加] を押します(必要に応じて、[参加] を表示するために [次へ] ソフトキーを押します)。 <p> (注) アクティブコールが自動的に選択されます。</p>
<p>会議に参加する</p>	<p>呼出音が鳴ったら電話機に応答します。</p>
<p>共有回線のコールに割り込み、会議を開催する</p>	<p>共有回線でコールを強調表示し、[C 割込] を押します(必要に応じて、[C 割込] を表示するために [次へ] ソフトキーを押します)。</p> <p>P. 36 の「共有回線の使用」を参照してください。</p>
<p>会議の参加者のリストを表示する</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. アクティブな会議を強調表示します。 2. [参加者] を押します。 <p>会議に参加した順序に従って、参加者がリストに表示されます。最後に追加された参加者がリストの先頭になります。</p>
<p>会議の参加者のリストを更新する</p>	<p>会議の参加者のリストを表示している状態で、[更新] を押します。</p>

目的	必要な操作または状態の説明
会議の開催者を確認する	会議のリストを表示している状態で、リストの末尾までスクロールして、会議の開催者（名前の横にアスタリスク（*）の付いた人物）を検索します。
会議に最後に追加された参加者を削除する	<p>[ドロップ] を押します。</p> <p>参加者を削除できるのは、会議コールの開催者だけです。</p>
会議の任意の参加者を削除する	<p>1. 参加者の名前を強調表示します。</p> <p>2. [サクジョ] を押します。</p> <p>参加者を削除できるのは、会議の開催者だけです。</p>
標準の会議への参加を終了する	切断するか、または [終了] を押します。

ヒント

- 会議に複数のコールを追加するには、それらのコールが同じ回線にある必要があります。コールがそれぞれ異なる回線にある場合は、それらのコールを1本の同じ回線に転送してから [**会議**] または [**参加**] を押します。
- 電話機の設定内容によっては、会議を開催した後でその会議を切断すると、会議が終了する場合があります。会議が終了しないようにするには、会議を転送してから、切断します。

Meet-Me 会議コールの開催または参加

Meet-Me 会議では、会議番号に発信することで、会議の開催や参加をすることができます。

目的	必要な操作または状態の説明
Meet-Me 会議を開催する	<ol style="list-style-type: none">1. システム管理者から Meet-Me 電話番号を取得します。2. 参加者に番号を配布します。3. 会議を開催する準備ができたなら、オフフックにしてダイヤル トーンを呼び出し、[ミートミー]を押します。4. Meet-Me 会議番号をダイヤルします。 ダイヤルインすることにより、参加者は会議に参加することができます。 <p> (注) 会議の開催者が参加する前に、参加者が会議にコールした場合、その参加者にはビジー音が聞こえます。この場合、参加者はコールバックする必要があります。</p>
Meet-Me 会議に参加する	<p>Meet-Me 会議番号をダイヤルします(この番号は会議の開催者から提供されます)。</p> <p> (注) 会議の開催者が参加する前に、会議にコールした場合には、ビジー音が聞こえます。この場合、再びコールします。</p>
Meet-Me 会議を終了する	<p>参加者全員が、切断する必要があります。</p> <p>会議の開催者が切断しても、会議は自動的に終了しません。</p>

応用的なコール処理

応用的なコール処理のタスクには、特別な機能が伴うため、コール処理の需要や作業環境に応じて、システム管理者に電話機の設定を依頼します。

短縮ダイヤル

短縮ダイヤル機能により、インデックス番号の入力、ボタンの押下、または、電話スクリーン項目の選択を行い、発信できます。設定に応じて、電話機で、複数の短縮ダイヤル機能をサポートできます。

- 短縮ダイヤル ボタン
- 固定短縮ダイヤル
- ファースト ダイヤル



- (注)**
- 短縮ダイヤルおよび固定短縮ダイヤルを設定するには、ユーザ オプション Web ページにアクセスする必要があります。P. 55 の「ユーザ オプション Web ページへのログイン」を参照してください。
 - システム管理者が、短縮ダイヤルを設定することができます。
-

自分の電話機で他の電話機の着信に応答する

目的	必要な操作または状態の説明
短縮ダイヤル ボタンを使用する	<ol style="list-style-type: none"> 1. ユーザ オプション Web ページから短縮ダイヤル ボタンを設定します。 2. コールを発信するには、 (短縮ダイヤル ボタン) を押します。
固定短縮ダイヤルを使用する	<ol style="list-style-type: none"> 1. ユーザ オプション Web ページから固定短縮ダイヤル コードを設定します。 2. コールを発信するには、固定短縮ダイヤル コードを入力し、[短縮] を押します。
ファースト ダイヤルを使用する	<ol style="list-style-type: none"> 1. ユーザ オプション Web ページからファースト ダイヤル サービスへの登録とファースト ダイヤル コードの設定をします。P. 56 の「電話機サービスへの登録」を参照してください。 2. コールを発信するには、電話機の  > Fast Dial サービスを選択し (名前は異なる場合があります) リストを強調表示して、オフフックにします。または、電話スクリーンのリストを押します。

コール ピックアップでは、同僚の電話機で呼び出し中のコールを自分の電話機にリダイレクトすることによって、そのコールに応答できます。同僚とコール処理を共有する場合、コール ピックアップを使用することができます。

目的	必要な操作または状態の説明
自分のコール ピックアップ グループ内の内線で鳴っているコールに 応答する	<ol style="list-style-type: none"> 1. 次のいずれかの操作を実行します。 <ul style="list-style-type: none"> • [ピック] ソフトキーが使用可能である場合、キーを押します。 • [ピック] ソフトキーが使用できない場合、オフフックにして表示してから [ピック] を押します。 • 電話機が自動ピックアップをサポートする場合、すぐにコールに接続します。 2. コールが鳴ったら、[応答] を押して、コールに接続します。

目的	必要な操作または状態の説明
グループ外の内線で鳴っているコールに応答する	<ol style="list-style-type: none"> 1. 次のいずれかの操作を実行します。 <ul style="list-style-type: none"> • [G ピック] ソフトキーが使用可能である場合、キーを押します。 • [G ピック] ソフトキーが使用できない場合、オフフックにして表示してから [G ピック] を押します。 2. グループ ピックアップのコードを入力します。 電話機が自動ピックアップをサポートする場合、すぐにコールに接続します。 3. コールが鳴ったら、[応答] を押して、コールに接続します。
自分のグループ内または関連付けられているグループ内の内線で鳴っているコールに応答する	<ol style="list-style-type: none"> 1. 次のいずれかの操作を実行します。 <ul style="list-style-type: none"> • [他 Grp] ソフトキーが使用可能である場合、キーを押します。 • [他 Grp] ソフトキーが使用できない場合、オフフックにして表示してから [他 Grp] を押します。 • 電話機が自動ピックアップをサポートする場合、すぐにコールに接続します。 2. コールが鳴ったら、[応答] を押して、コールに接続します。

ヒント

- 電話機の設定の仕方に応じて、ピックアップ グループへのコールに関する音声とメッセージのいずれかまたはその両方の通知を受信することができます。
- [ピック] と [G ピック] を押すと、最も長くなり続けているコールに接続します。
- [他 Grp] を押すと、プライオリティの最も高いピックアップグループ内のコールに接続します。
- 複数の回線があり、プライマリでない回線でコールに応答する場合、最初に目的の回線の  を押してからコール ピックアップのソフトキーを押します。

共有回線の使用

次の場合、システム管理者が共有ラインの使用を指示することがあります。

- 複数の電話機で1つの電話番号を使う
- 同僚とコール処理タスクを共有する
- マネージャに代わってコールを処理する

共有回線について

リモートで使用中

共有回線の別の電話に接続コールがある場合、リモートで使用中のアイコン  が表示されます。リモートで使用中のアイコンが表示されている場合でも、共有回線では通常どおりにコールの発信や受信を行うことができます。

コール情報の共有と割り込み

共有回線の電話機には、共有回線で発信および受信したコールに関する情報がそれぞれ表示されます。この情報には、発信者 ID や通話時間などが含まれます（例外については、プライバシーの項を参照）。

コールに関する情報がこのように表示されているときは、[**割り込み**] または [**C 割り込**] を使用して、回線を共有する同僚とともに、コールに参加することができます。P. 36 の「共有回線のコールへの参加」を参照してください。

プライバシー

回線を共有している同僚に対して自分のコールに関する情報が表示されないようにするには、プライバシー機能を有効にします。この機能を有効にすると、自分のコールに同僚が割り込むのを防止することもできます。P. 38 の「他者による共有回線のコールの表示および割り込みの防止」を参照してください。



(注) 共有回線でサポートされるコールの最大数は、電話機によって異なります。

共有回線のコールへの参加

電話機の設定によって、割り込み機能または C 割り込み機能を使用して、共有回線のコールに自分自身を追加できる場合があります。

目的	必要な操作または状態の説明
共有回線が使用中であることを確認する	赤い回線ボタン  のとなりのリモートで使用中のアイコンの表示  を確認します。
共有回線でアクティブなコールの詳細を確認する	リモートで使用中の回線の赤い回線ボタン  を押します。プライベート コール以外はすべて電話スクリーンのコール アクティビティ領域に表示されます。
【 割り込み 】 ソフトキーを使用して共有回線のコールに参加する	<ol style="list-style-type: none"> 1. リモートで使用中のコールを強調表示します。 2. 【 割り込み 】 を押します（必要に応じて、【 割り込み 】 を表示するために 【 次へ 】 ソフトキーを押します）。 他の参加者に対して自分の割り込みを知らせるピープ音が鳴ります。
【 C 割込 】 ソフトキーを使用して共有回線のコールに参加する	【 割り込み 】 とは異なり、【 C 割込 】 を使用すると、コールが標準の会議コールに切り替えられ、新しい参加者を追加できるようになります。P. 29 の「会議コールの使用方法」を参照してください。
割り込んだコールに新しい会議の参加者を追加する	<p>使用可能な場合、【 C 割込 】 を使って、コールに割り込みます。</p> <p>割り込み機能とは異なり、C 割り込み機能を使用すると、コールが標準の会議コールに切り替えられ、会議への新しい参加者をコールに追加できるようになります。P. 29 の「会議コールの使用方法」を参照してください。</p>
割り込んだコールを切断する	<p>切断します。</p> <p>割り込み機能の使用後にコールを切断すると、他の参加者に切断音が聞こえ、元のコールが続行します。</p> <p>C 割込の使用後にコールを切断すると、3 名以上の参加者が回線に残っている場合に限り、そのコールは会議コールとして続行します。</p>

ヒント

- 共有回線の電話機でプライバシー機能が有効な場合、コールの情報や割り込みのソフトキーは、回線を共有する別の電話機には表示されません。
- 【 割り込み 】 を使用して参加したコールが保留状態になるか、転送されるか、または会議コールに切り替えられた場合は、そのコールから切断されます。

他者による共有回線のコールの表示および割り込みの防止

電話回線を共有する場合、プライバシー機能を使用し、回線を共有している他者が自分のコールを表示したり自分のコールに割り込んだりする（コールに参加する）のを防止することができます。

目的	必要な操作または状態の説明
他者が共有回線のコールを表示したり、コールに割り込んだりすることを防止する	<ol style="list-style-type: none">1. [ヒツウチ ] を押します。2. プライバシー機能がオンになっているのを確かめるには、オレンジの回線ボタン  のとなりの、プライバシー機能が有効のアイコン  を確認します。
他者が共有回線のコールを表示したり、コールに割り込んだりすることを許可する	<ol style="list-style-type: none">1. [ヒツウチ ] を押します。2. プライバシー機能がオフであることを確かめるには、点灯していない回線ボタン  のとなりのプライバシー機能が無効のアイコン  を確認します。

ヒント

- 回線を共有している電話機でプライバシー機能が有効になっている場合、共有回線を通常どおり使用して、コールの発信や受信ができます。
- プライバシー機能は、使用している電話機のすべての共有回線に適用されます。したがって、複数の共有回線でプライバシー機能を有効にすると、自分が共有している回線すべてにおいて、同僚がコールを表示したりコールに割り込んだりすることを防止できます。
- コールを保留にしている場合、プライバシー機能が有効であるときでも、発信者番号情報（コール名と番号）は、共有回線に表示されます。システム管理者は、プライバシー機能が有効な場合、保留状態のコールに対し、発信者番号の情報の表示を制限することができます。ただし、この場合、保留状態であった電話機からのコールを取得することしかできません。

パークされているコールの保存と取得

コールをパークすると、コールを保存し、Cisco CallManager システムの別の電話機（同僚のデスクや会議室の電話機など）でコールを取得できます。次の方法を使用してコールをパークできます。

- コール パーク : [**パーク**] ソフトキーを使用して、コールを保存します。電話機に、システムがコールを保存したコール パーク番号が表示されます。この番号を記録しておき、同じ番号を使用してコールを取得する必要があります。
- ダイレクト コール パーク : [**転送**] ソフトキーを使用して、ダイヤルまたは短縮ダイヤルする特定のダイレクト コール パーク番号へコールを転送します。ダイレクト コール パーク番号からコールを取得するには、パーク取得プレフィックスをダイヤルしてから、同じダイレクト コール パーク番号をダイヤルまたは短縮ダイヤルします。
- ダイレクト コール パーク ボタンを使用すると、ダイレクト コール パーク番号を短縮ダイヤルしたり、ダイレクト コール パーク番号が使用中か空いているかを監視したりできます。

目的	必要な操作または状態の説明
コール パークを使用してアクティブなコールを保存する	<ol style="list-style-type: none">1. コール中に [パーク] を押します（必要に応じて、[次へ] ソフトキーを押して、[パーク] を押します）。2. 電話機のスクリーンに表示されたコール パーク番号を書き留めます。3. 切断します。
パークされたコールを取得する	ネットワーク内の任意の Cisco IP Phone でコールのパーク番号を入力し、コールに接続します。
アクティブなコールをダイレクト コール パーク番号に転送し、保存する	<ol style="list-style-type: none">1. コール中に [転送] を押します。2. パーク空きアイコン  が表示されているときに、（ダイレクト コール パーク ボタン）を押し、ダイレクト コール パーク番号を短縮ダイヤルします。点滅しているダイレクト コール パーク ボタン  とパーク使用中アイコン  は、ダイレクト コール パーク番号が使用不可であることを意味します。3. [転送] をもう一度押して、コールの保存を終了します。
パークされたコールをダイレクト コール パーク番号から取得する	ネットワーク内の任意の電話機から、パーク取得プレフィックスを入力し、ダイレクト コール パーク番号をダイヤルします。あるいは、パーク使用中アイコン  が表示された状態で  （ダイレクト コール パーク ボタン）を押します。

ヒント

- パークされているコールを取得するまでの時間は制限されていて、その時間を過ぎると元の番号に戻って呼出音が鳴ります。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。
- システム管理者は、電話機または Cisco IP Phone 拡張モジュール 7914 上の使用可能な回線ボタンにダイレクト コール パーク ボタンを割り当てることができます。
- 電話機にダイレクト コール パーク ボタンがない場合は、ダイレクト コール パーク番号をダイヤルできます。ただし、ダイレクト コール パーク番号の状態を見ることはできません。

安全なコールの送受信

システム管理者が電話機システムをどのように設定したかによって異なりますが、電話機では安全なコールの送受信がサポートされます。

電話機では、次のタイプのコールをサポートできます。

- 認証されたコール：コールに参加しているすべての電話機の ID が検証されています。
- 暗号化されたコール：電話機は、Cisco IP ネットワーク内で暗号化されたオーディオ（会話）を送受信しています。暗号化済みのコールは認証済みのコールでもあります。
- ノンセキュア コール：参加している電話機または接続の少なくとも 1 つでセキュリティ機能がサポートされていないか、電話機が検証できません。

目的	必要な操作または状態の説明
コールのセキュリティ レベルを確認する	コール アクティビティ領域の右上、通話時間タイマーの横にあるセキュリティ アイコンが、次のいずれかの状態になっていることを確認します。  認証されたコール  暗号化されたコール コールがノンセキュアの場合は、どちらのセキュリティ アイコンも表示されません。
社内で安全なコールを発信できるかどうかを判断する	システム管理者にお問い合わせください。



(注) 相互作用や制約、制限によって、電話機におけるセキュリティ機能の動作が悪影響を受ける場合があります。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

不審なコールのトレース

不審（迷惑）なコールを受信している場合、システム管理者は電話機に Malicious Call Identification (MCID) 機能を追加できます。この機能を使用すると、アクティブなコールを不審なコールとして識別できます。その結果、一連のトラッキングと通知のメッセージが自動的に発信されます。

目的	必要な操作または状態の説明
システム管理者に不審なコールまたは嫌がらせのコールの受信を通知する	[メイワクコ] を押します。 電話機でトーンが再生され、電話機に「メイワクコガセイコウシマシタ」というメッセージが表示されます。

重要なコールの優先順位付け

官庁のような特別な環境では、緊急または重要なコールを発信および受信しなければならない場合があります。この特別なコール処理が必要な場合は、電話機への Multilevel Precedence and Preemption (MLPP) の追加をシステム管理者に依頼します。

次の用語に留意してください。

- *Precedence* : コールに関連付けられたプライオリティを示します。
- *Preemption* : プライオリティの低い既存のコールを終了して、電話機に送信されたプライオリティのより高いコールを受け入れる処理です。

目的または状態	必要な操作または状態の説明
発信コールのプライオリティレベル (Precedence) を選択する	対応するコールの Precedence 番号のリストについては、システム管理者にお問い合わせください。
プライオリティ (Precedence) コールをかける	電話番号の前に、システム管理者から提供された MLPP アクセス番号を入力します。
特別な呼出音 (通常より速い) または特別なコール ウェイティングのトーンが鳴る	プライオリティ (Precedence) コールを受けていることを意味します。コールのプライオリティレベルは、電話スクリーン上の MLPP アイコンによって示されます。

目的または状態	必要な操作または状態の説明
コールのプライオリティ レベルを確認する	<p>電話スクリーン上の MLPP アイコンを確認します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ プライオリティ コール  プライオリティのやや高い (即時) コール  プライオリティの高い (フラッシュ) コール  プライオリティの最も高い (フラッシュ オーバーライド) コール、つまりエグゼクティブ オーバーライド コール <p>より高いプライオリティのコールが、コール リストの先頭に表示されます。MLPP アイコンが表示されていない場合、コールのプライオリティ レベルは通常 (ルーチン) です。</p>
プライオリティのより高いコールを受け入れる	<p>コールに通常どおり応答します。必要に応じて、アクティブなコールを先に終了します。</p>
コール中に連続したトーンが聞こえる	<p>自分または通話相手が、現在のコールより優先されるべきコールを受信しています。すぐに切断し、プライオリティのより高いコールの呼出音が鳴るようにします。</p>

ヒント

- MLPP が有効なコールを発信または受信すると、標準のトーンとは異なる特別な呼出音とコール ウェイティングのトーンが鳴ります。
- 無効な MLPP アクセス番号を入力すると、音声によるアナウンスでエラーが通知されます。

Cisco エクステンション モビリティの使用法

Cisco エクステンション モビリティ (EM) を使って、自分用に Cisco IP Phone を一時的に設定することができます。EM にログインすると、電話機が、電話回線、機能、設定されたサービス、および Web ベースの設定といったユーザ プロファイルを選択します。システム管理者は、EM を設定する必要があります。

目的	必要な操作または状態の説明
EM へのログイン	<ol style="list-style-type: none">1.  > EM Service を選択します (名前は異なる場合があります)。2. ユーザ ID および PIN (システム管理者より提供されたもの) を入力します。3. 指示がある場合、デバイス プロファイルを選択します。
EM からのログアウト	<ol style="list-style-type: none">1.  > EM Service を選択します (名前は異なる場合があります)。2. ログアウトの指示があったら、Yes を押します。

ヒント

- 一定の時間が過ぎると、EM によって自動的にログアウトされます。この時間制限は、システム管理者により設定されます。
- (ユーザ オプション Web ページから) EM プロファイルに対する変更点は、次回、電話機の EM へログインするときに有効になります。
- 電話機だけに制御を受ける設定は、EM プロファイルには、保持されません。

ハント グループのログアウト

お客様の組織が多数の着信コールを受ける場合、ハントグループのメンバーになる可能性があります。ハントグループには、着信コールロードを共有する一連のディレクトリ番号があります。ハントグループ内の最初のディレクトリ番号が使用中のとき、システムによって、グループ内で次に使用可能なディレクトリ番号がハントされ、その電話機にコールが割り当てられます。

電話機から遠いとき、ハントグループからログアウトすることにより、ハントグループコールによって電話が呼び出されるのを防ぐことができます。

目的	必要な操作または状態の説明
ハントグループのログアウトによるハントグループコールの一時的ブロック	[ハント] を押します。電話スクリーンに「ハントグループカラログアウトシテイマス」と表示されます。
ログインしてハントグループコールを受信する	[ハント] を押します。

ヒント

ハントグループからのログアウトで、ハントグループでないコールによる呼び出しを防ぐことはできません。

ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカフォンの使用方法

ハンドセット、ヘッドセット、またはスピーカフォンと一緒に電話機を使用できます。

目的	必要な操作または状態の説明
ハンドセットを使用する	オフフックにするにはハンドセットを取り上げます。オンフックにするにはハンドセットを置きます。
ヘッドセットを使用する	ヘッドセット モードのオン / オフを切り替えるには、  を押します自動応答を使用している場合は、例外について P. 46 の「自動応答の使用法」を参照してください。 ヘッドセットの使用中は、  や  など、電話機のすべてのコントロールにアクセスできます。
スピーカフォンを使用する	スピーカフォン モードのオン / オフを切り替えるには、  を押します。 ハンドセットが受け台に置かれていて、  が点灯していないときに電話番号をダイヤル、またはコールに回答すると、通常はスピーカフォン モードが自動的に有効になります。
コール中に(ハンドセットから)スピーカフォンまたはヘッドセットに切り替える	 または  を押し、ハンドセットを置きます。
コール中に(スピーカフォンまたはヘッドセットから)ハンドセットに切り替える	ボタンは何も押さずに、ハンドセットを取り上げます。
コールの音量レベルを調節する	コール中またはダイヤルトーンが聞こえているときに  を押します。 この操作によって、ハンドセット、スピーカフォン、またヘッドセットの使用状況に応じて、それらのボリュームを調節します。 [保存] を押して、以降のコールのために音量レベルを保存します。

ヘッドセットの購入

電話機では、電話線が4本または6本のヘッドセットのジャックがサポートされています。ヘッドセットの購入については、P.9の「ヘッドセットについて」を参照してください。

自動応答の使用法

自動応答が有効である場合、電話機は、2～3回の呼出音の後、自動的に着信コールに応答します。システム管理者は、スピーカフォンまたはヘッドセットのいずれかの使用時に自動応答するように設定します。大量の着信コールを受ける場合、自動応答を使用すると便利です。

目的または状態	必要な操作または状態の説明
ヘッドセットで自動応答を使用する	<p>コール中でない場合でも、ヘッドセットモードをアクティブ(つまり  が点灯した状態)にしておきます。</p> <p>ヘッドセットモードをアクティブにするには、次のいずれかの操作を行います。</p> <ul style="list-style-type: none">• [終了]を押して、切断します。• 新しくコールを発信するには、[発信]または [ダイヤル]を押します。 <p>電話機がヘッドセットモードで自動応答を使用するように設定されている場合、コールは  が点灯しているときのみ自動的に応答されます。条件が満たされていない場合は、通常どおりコールの呼出音が鳴るので、手動で応答する必要があります。</p>
スピーカフォンで自動応答を使用する	<p>ハンドセットを受け台に置き、ヘッドセットモードを非アクティブ( が消灯)にしておきます。</p> <p>条件が満たされていない場合は、通常どおりコールの呼出音が鳴るので、手動で応答する必要があります。</p>

電話機の設定の使用法

呼出音のトーン、背景イメージ、またはその他の設定を調整することにより、Cisco IP Phone をカスタマイズすることができます。

呼出音およびメッセージ インジケータのカスタマイズ

着信コールや新しいボイス メールメッセージの示し方をカスタマイズできます。また、電話機の呼出音の音量を調節することができます。

目的	必要な操作または状態の説明
呼出音を変更する	<ol style="list-style-type: none">1.  > [ユーザ設定] > [呼出音] を選択します。2. 電話回線またはデフォルトの呼出音の設定を選択します。3. 呼出音のトーンを選択してそのサンプルを再生します。4. [選択] および [保存] を押して、呼出音のトーンを設定します。または、[キャンセル] を押します ([デフォルト] を押すと、選択された電話回線にデフォルトの呼出音の設定が適用されます)。
呼出音のパターン(点滅のみ、一度だけ鳴らす、ピープ音のみなど)を変更する	<ol style="list-style-type: none">1. ユーザ オプション Web ページにログインします (P. 55 の「ユーザ オプション Web ページへのログイン」を参照)。2. [電話の呼び出し音設定を変更] を選択します。 <p> (注) ユーザ オプション Web ページから [電話の呼び出し音設定を変更] にアクセスできるようにするには、システム管理者が電話機のこのオプションを有効にする必要があります。</p>
電話機の呼出音の音量レベルを調節する	ハンドセットが受け台に置かれていて、ヘッドセットとスピーカフォンのボタンがオフになっている状態で、  を押します。設定した呼出音の音量が自動的に保存されます。

目的	必要な操作または状態の説明
<p>ハンドセットにあるボイス メッセージのランプの動作を変更する</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. ユーザ オプション Web ページにログインします (P. 55 の「ユーザ オプション Web ページへのログイン」を参照)。 2. [メッセージ受信のランプポリシーを変更] を選択します。 <p> (注) 通常、ハンドセットのボイス メッセージ ランプのデフォルトのシステム ポリシーに従って、電話機のランプが点灯し、新しいボイス メッセージがあることを示します。</p>

電話スクリーンのカスタマイズ

必要に応じて電話スクリーンの設定を調整できます。

目的	必要な操作または状態の説明
<p>電話スクリーンのコントラストを変更する</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1.  > [ユーザ設定] > [コントラスト] を選択します。 2. 調整するには、[アップ] [ダウン] または  を押します。 3. [保存] を押します。または、[キャンセル] を押します。 <p> (注) 非常に明るいか、または非常に暗いコントラストを間違えて保存し、電話スクリーンの表示が見えなくなった場合、次の操作を行います。</p> <p> を押してから、キーパッドで 1、3 を押します。</p> <p>次に、 を押して電話スクリーンの表示が見えるようになるまでコントラストを変更し、[保存] を押します。</p>

目的	必要な操作または状態の説明
背景イメージを変更する	<ol style="list-style-type: none"> 1.  > [ユーザ設定] > [背景イメージ] を選択します。 2. スクロールして利用可能な画像を表示し、[選択] を押して画像を選択します。 3. [プレビュー] を押して、背景イメージの拡大表示を確認します。 4. [終了] を押して、選択メニューに戻ります。 5. [保存] を押して画像を受け入れるか、または[キャンセル] を押します。 <p> (注) 選択した画像が表示されない場合、このオプションはシステムで無効になっています。</p>
言語を変更する	<ol style="list-style-type: none"> 1. ユーザ オプション Web ページにログインします (P. 55 の「ユーザ オプション Web ページへのログイン」を参照)。 2. [この電話のロケールを変更] を選択します。
テキストラベルを変更する	<ol style="list-style-type: none"> 1. ユーザ オプション Web ページにログインします (P. 55 の「ユーザ オプション Web ページへのログイン」を参照)。 2. [電話の回線テキストラベルを変更] を選択します。 <p> (注) システム管理者は、この機能へのアクセスを有効にする必要があります。</p>

履歴およびディレクトリの使用方法

この項では、履歴およびディレクトリの使用方法について説明します。両方の機能にアクセスするには、ディレクトリ ボタン  を使用します。

履歴の使用方法

電話機には、コールに関する不在、発信、および着信のレコードが保持されています。

目的	必要な操作または状態の説明
履歴を表示する	 > [不在履歴]、[発信履歴]、または [着信履歴] を選択します。それぞれに最大 100 件のレコードを保存できます。部分的なリストを表示するには、リストを強調表示して [編集] を押します。
履歴を削除する	 を押してから [クリア] を押します。この操作により、すべてのログ内のコールレコードが削除されます。
履歴からダイヤルする（別のコールに接続していない状態）	<ol style="list-style-type: none">1.  > [不在履歴] [発信履歴] または [着信履歴] を選択します。2. ログから、コールレコードを強調表示します。  (注) [詳細] ソフトキーが表示されたら、そのコールは、複数のコールのプライマリ エントリになります。ヒントの項を参照してください。3. 表示された番号を編集する必要がある場合、[編集] を押します。次に、<<または>> を押します。番号を削除するには、[編集] を押した後、[削除] を押します（必要に応じて、[削除] を表示するために [次へ] ソフトキーを押します）。4. オフフックにしてコールを発信します。

目的	必要な操作または状態の説明
履歴からダイヤルする（別のコールに接続した状態）。	<ol style="list-style-type: none"> 1.  > [不在履歴] [発信履歴] または [着信履歴] を選択します。 2. ログから、コールレコードを強調表示します。 [詳細] ソフトキーが表示されたら、そのコールは、複数のコールのプライマリ エントリになります。ヒントの項を参照してください。 3. 表示された番号を編集する必要がある場合、[編集] を押します。次に、<<または>> を押します。番号を削除するには、[編集] を押した後、[削除] を押します（必要に応じて、[削除] を表示するために [次へ] ソフトキーを押します）。 4. [ダイヤル] を押します。 5. 元のコールの処理に対応するメニュー項目を、次の中から選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • [保留]: 最初のコールを保留にし、2 番目のコールをダイヤルします。 • [転送]: 最初の通話相手を 2 番目の通話相手に転送し、自分のコールを終了します（操作を完了するには、ダイヤルした後で [転送] をもう一度押します）。 • [会議]: 自分も含めすべての通話相手との間で会議コールを作成します（操作を完了するには、ダイヤルした後で [会議] をもう一度押します）。 • [終了]: 最初のコールを切断し、2 番目のコールをダイヤルします。

ヒント

完了した複数のコールのレコードを表示するには [詳細] を押します。詳細レコードにより、不在着信、または着信した複数のコールに関する 2 つのエントリが表示されます。エントリは、新しい順に表示されます。

- 先頭に記録されたエントリは、電話機が受信した複数のコールの中で、直近に完了したコールの名前と番号です。
- 2 番目に記録されたエントリは、電話機が受信した複数のコールのうち一番最初に完了したコールの名前と番号です。

電話機の社内ディレクトリの使用方法

設定に応じて、電話機で、社内ディレクトリにアクセスし、それを使用して同僚にコールを発信することができます。社内ディレクトリの設定および保守は、システム管理者によって行われます。

目的	必要な操作または状態の説明
社内ディレクトリログからダイヤルする（別のコールに接続していない状態）	<ol style="list-style-type: none">1.  > [シャナイディレクトリ] を選択します（名前は異なる場合があります）。2. キーパッドを使用して、名前の全部、または一部を入力し、[検索] を押します。3. ダイヤルするには、ダイヤルするリストの番号を選択するかまたはスクロールして選択し、オフフックにします。
社内ディレクトリログからダイヤルする（別のコールに接続した状態）	<ol style="list-style-type: none">1.  > [シャナイディレクトリ] を選択します（名前は異なる場合があります）。2. キーパッドを使用して、名前の全部、または一部を入力し、[検索] を押します。3. リストをスクロールして、[ダイヤル] を押します。4. 元のコールの処理に対応するメニュー項目を、次の中から選択します。<ul style="list-style-type: none">• [保留]: 最初のコールを保留にし、2 番目のコールをダイヤルします。• [転送]: 最初の通話相手を 2 番目の通話相手に転送し、自分のコールを終了します（操作を完了するには、ダイヤルした後で [転送] をもう一度押します）。• [会議]: 自分も含めすべての通話相手との間で会議コールを作成します（操作を完了するには、ダイヤルした後で [会議] をもう一度押します）。• [終了]: 最初のコールを切断し、2 番目のコールをダイヤルします。

ヒント

キーパッドの番号を使用して、電話スクリーンの文字を入力します。電話機のナビゲーション ボタンを使用して、入力フィールド間を移動します。

ボイス メッセージへのアクセス

ボイスメッセージにアクセスするには、メッセージ ボタン  を使用します。



お使いの電話機システムが使用するボイス メッセージ サービスは、会社によって決定されま
す。ボイス メッセージ サービスの詳細については、付属のマニュアルを参照してください。

目的	必要な操作または状態の説明
ボイス メッセージ サービスの 個人設定を行う	 を押し、音声の指示に従います。 タッチスクリーンにメニューが表示された場合は、該当するメ ニュー項目を選択します。
新しいボイス メッセージの着 信を確認する	確認： <ul style="list-style-type: none">• ハンドセットの赤いランプの点灯（このインジケータは異なる 場合があります。P. 47 の「呼出音およびメッセージ インジケ ータのカスタマイズ」を参照してください）• メッセージ受信アイコン  の点滅、およびスクリーンのテキ ストメッセージ。
ボイス メッセージを聞く、また はボイス メッセージ メニュー にアクセスする	 を押します。 このボタンを押すと、メッセージ サービスに自動ダイヤルされる か、またはスクリーンにメニューが表示されます。この動作は、お 使いのボイス メッセージ サービスによって異なります。
ボイス メッセージ システムに コールを送信する	[即転送] を押します。 コール（呼び出し中や保留中のものも含む）がボイス メッセージ シ ステムに自動転送されます。発信者はボイス メッセージの内容を聞 いて、メッセージを残すことができます。

ユーザ オプション Web ページへのアクセス

Cisco IP Phone はネットワーク デバイスであるため、社内の他のネットワーク デバイスと情報を共有することができます。この中には、コンピュータの Web ブラウザを使用してアクセスできる Web ベースのサービスも含まれます。

Cisco CallManager のユーザ オプション Web ページを使用すると、コンピュータで電話機サービスの設定、および設定や機能の制御を行うことができます。これらの機能やサービスを Web ページで設定しておくと、電話機でアクセスできるようになります。

たとえば、短縮ダイヤル ボタンを Web ページから設定したら、それ以降、それらのボタンには電話機でアクセスできます。

この項では、ユーザ オプション Web ページへのアクセス方法、および電話機サービスの登録方法について説明します。設定できる機能および登録できる電話機サービスの詳細については、『*Web での Cisco IP Phone のカスタマイズ*』（http://www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/product/voice/c_ipphon/index.htm）を参照してください。

ユーザ オプション Web ページへのログイン

手順

-
- ステップ 1** ユーザ オプション の URL、ユーザ ID、およびデフォルトのパスワードをシステム管理者から入手します。
- ステップ 2** コンピュータで Web ブラウザを起動し、システム管理者から提供された URL を入力してログインします。
- ステップ 3** 総合メニューのデバイスを選択するドロップダウン リストから、デバイス タイプ（電話機のモデル）を選択します。
- 選択したデバイス タイプに対応したオプションが、コンテキスト メニューに表示されます。
- ステップ 4** 機能オプションを選択して設定ページを表示し、適切に選択または変更します。
- ステップ 5** 変更内容を適用して保存するには、[**更新**] をクリックします。
- ステップ 6** コンテキスト メニューに戻るには、[**メニューに戻る**] をクリックします。ユーザ オプション ページを終了するには、[**ログオフ**] をクリックします。
-

電話機サービスへの登録

電話機から登録電話機サービスにアクセスするには、まずコンピュータでユーザ オプション Web ページにアクセスし、電話機サービスに登録する必要があります。Web ページへのログインについては、P. 55 の「ユーザ オプション Web ページへのログイン」を参照してください。

電話機サービスの内容は次のとおりです。

- Web ベースの情報（株式相場、映画情報、気象情報など）
- ネットワーク データ（社内カレンダー、検索可能なディレクトリなど）
- 電話機の機能（個人ファースト ダイアル、個人アドレス帳など）

詳細については、次の表を参照してください。

目的	ログインしてデバイス タイプを選択した後の操作
サービスに登録する	メイン メニューから [Cisco IP Phone サービスの設定] を選択します。[使用可能なサービス] ドロップダウン リストからサービスを選択し、[続行] をクリックします。指示に従って情報（郵便番号や PIN など）を入力し、[登録] をクリックします。
登録を変更または解除する	メイン メニューから [Cisco IP Phone サービスの設定] を選択します。[登録されているサービス] パネルのサービスをクリックします。登録内容を変更して [更新] をクリック、または [登録解除] をクリックします。
サービスをプログラマブル ボタン  に追加する	サービスを登録した後、メイン メニューから [サービス URL ボタンの追加または更新] を選択します。利用可能なボタンごとに、ドロップダウン リストからサービスを選択し、説明のテキストを入力します。変更が終わったら、[更新] をクリックします。サービスを追加できるプログラマブル ボタンの数は、システム管理者が決定します。また、電話機へのサービス ボタンの割り当ても、システム管理者が行う場合があります。
電話機からサービスにアクセスする	電話機の  を押します。サービスをプログラマブル ボタン  に追加した場合は、ボタンを押します。
電話機サービスの利用方法を調べる	『 Web での Cisco IP Phone のカスタマイズ 』を参照してください。 http://www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/product/voice/c_ipphon/index.htm

その他の設定オプションについて

システム管理者は必要に応じて、特別なサービスや機能のほかに、特別なボタンやソフトキーのテンプレートを使用するように電話機を設定できます。次の表は、設定オプションの概要について説明しています。コールの需要や作業環境に応じたオプションの設定について、電話機のシステム管理者と相談するときに役立ちます。



(注) この表に記載されている電話ガイドやその他のマニュアルには、
http://www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/product/voice/c_ipphon/index.htm からアクセスできます。

目的または状態	必要な操作または状態の説明	参照先または問い合わせ先
回線が処理できるコール数を増やす必要がある	回線がサポートするコール数を増やすように、システム管理者に設定を依頼します。	システム管理者または電話機のサポート チームにお問い合わせください。
電話回線が1本では足りない	追加の電話番号の設定をシステム管理者に依頼します。	システム管理者または電話機のサポート チームにお問い合わせください。
短縮ダイヤルボタンが足りない	まず、現在利用可能な短縮ダイヤル ボタンをすべて使用しているかどうかを確認します。 追加の短縮ダイヤル ボタンが必要な場合は、固定短縮ダイヤル機能の使用またはファースト ダイヤル サービスへの登録を検討してください。 別の方法として、電話機に Cisco IP Phone 7914 拡張モジュールを接続することもできます。	次の説明を参照してください。 <ul style="list-style-type: none">• P. 33 の「短縮ダイヤル」• P. 56 の「電話機サービスへの登録」• <i>Cisco IP Phone 7914 拡張モジュール 電話ガイド</i>

目的または状態	必要な操作または状態の説明	参照先または問い合わせ先
秘書と仕事をしている (または自分が秘書である)	<p>次の機能の導入を検討してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Cisco IP Manager Assistant サービス • 共有回線 	<p>次の説明を参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • P. 36 の「共有回線の使用」 • <i>Cisco IP Manager Assistant ユーザガイド</i>
1 つの内線を複数の電話機で使用する	<p>共有回線が必要です。共有回線を使用することで、たとえば 1 つの内線番号をデスクの電話機と実験室の電話機で使用することができます。</p>	<p>P. 36 の「共有回線の使用」を参照してください。</p>
電話機やオフィススペースを同僚と共有している	<p>次の機能の導入を検討してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • コールパーク: 転送機能を使用せずにコールを保存、および取得できません。 • コールピックアップ: 別の電話機で鳴っているコールに応答できます。 • 共有回線: 同僚のコールを表示、またはそのコールに参加できます。 • Cisco エクステンション モビリティ: 自分の電話番号とユーザプロフィールを共有の Cisco IP Phone に適用できます。 	<p>これらの機能については、システム管理者にお問い合わせください。また、次の説明を参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • P. 33 の「応用的なコール処理」 • P. 36 の「共有回線の使用」 • P. 43 の「Cisco エクステンション モビリティの使用方法」
頻繁にコールに応答する、または他の人の代理でコールを処理する	<p>電話機の自動応答機能を設定するように、システム管理者に依頼します。</p>	<p>P. 46 の「自動応答の使用方法」を参照してください。</p>
ビデオコールを発信する必要がある	<p>Cisco VT Advantage の使用を検討します。この機能を使用すると、Cisco IP Phone、コンピュータ、および外部のビデオカメラを使用してビデオコールを発信できます。</p>	<p>詳細についてはシステム管理者にお問い合わせください。また、『<i>Cisco VT Advantage クイックスタートガイド</i>』および『<i>Cisco VT Advantage ユーザガイド</i>』を参照してください。</p>
自分の電話番号と設定を共有の Cisco IP Phone に一時的に適用する	<p>Cisco エクステンション モビリティ サービスについてシステム管理者に問い合わせます。</p>	<p>P. 43 の「Cisco エクステンション モビリティの使用方法」を参照してください。</p>

電話機のトラブルシューティング

この項では、ご使用の Cisco IP Phone に関するトラブルシューティング情報を示します。

一般的なトラブルシューティング

この項では、ご使用の電話機に関する問題のトラブルシューティングに役立つ情報を示します。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

症状	説明
ダイヤル トーンが聞こえない、またはコールを完了できない	次の状況の 1 つまたは複数当てはまります。 <ul style="list-style-type: none">• エクステンション モビリティ サービスにログインする必要があります。• CMC または認証に必要な FAC を入力してから番号をダイヤルする必要があります。• 電話機に時間制限が設定されていて、一日の特定の時間帯に一部の機能が使用できなくなっています。
設定ボタンが反応しない。	システム管理者が電話機の  を無効に設定している可能性があります。
使用したいソフトキーが表示されない。	次の状況の 1 つまたは複数当てはまります。 <ul style="list-style-type: none">• その他のソフトキーを表示させるために [次へ] を押す必要があります。• 回線の状態を変更する必要があります (オフフックにする、または接続コールにするなど)。• 電話機が、ソフトキーに関連付けられている機能をサポートするように設定されていない。
[参加] の失敗	[参加] には複数の選択したコールが必要です。アクティブなコールのほかに少なくとも 1 つのコールを選択していることを確認してください (アクティブなコールは自動的に選択されます)。さらに、[参加] には、選択したコールが同じ回線にある必要もあります。必要に応じて、参加する前に 1 つの回線にコールを転送します。

症状	説明
[割り込み]の失敗と速いビジー音	使用している電話機に暗号化機能が設定されていない場合、暗号化されたコールには割り込みできません。この理由によって割り込みの試行が失敗すると、電話機で速いビジー音が聞こえます。
[割り込み]を使用して参加したコールが切断される	[割り込み]を使用して参加したコールが保留状態になるか、転送されるか、または会議コールに切り替えられた場合は、そのコールから切断されます。
Cisco CallBack の失敗	通話相手がコール転送を有効にしている可能性があります。

電話機の管理データの表示

システム管理者が、トラブルシューティングの目的で、電話機の管理データへのアクセスを指示する場合があります。

目的	必要な操作または状態の説明
ネットワーク構成データにアクセスする	 > [ネットワークの設定] を選択し、表示するネットワーク構成項目を選択します。
ステータス データにアクセスする	 > [ステータス] を選択し、表示するステータス項目を選択します。
電話機のモデル情報にアクセスする	 > [モデル情報] を選択します。
通話や音声の品質情報へのアクセス	 > [ステータス] > [コールの統計] を選択してください。

Quality Reporting Tool の使用方法

パフォーマンスに関する問題をトラブルシューティングするために、システム管理者により一時的に、電話機に Quality Reporting Tool (QRT) が設定されることがあります。[品質] を押して、システム管理者に情報を送信することができます。設定に応じて、次のように [品質] を使用します。

- 現在のコールのオーディオに関する問題をすぐにレポートします。
- カテゴリのリストから一般的な問題を選び、理由コードを選択します。

シスコ製品（ハードウェア）に関する 1年間の限定保証規定

保証期間内にお客様が受けられるハードウェアの保証およびサービスに関して適用される特別な条件があります。シスコのソフトウェアに適用される保証を含む正式な保証書は、Cisco Documentation CD および Cisco.com から参照できます。次の手順を実行して CD から、あるいは Cisco.com から *Cisco Information Packet*、および保証書にアクセスし、これらをダウンロードしてください。

1. ブラウザを起動し、次の URL に進みます。

http://www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/es_inpk/cetrans.htm

Warranties and License Agreements ページが表示されます。

2. *Cisco Information Packet* を表示するには、次の手順を実行します。

- a. **Information Packet Number** フィールドをクリックし、製品番号 78-5235-02F0 が選択されていることを確認します。
- b. 文書を表示する言語を選択します。
- c. **Go** をクリックします。
- d. Information Packet の Cisco Limited Warranty and Software License ページが表示されます。
- e. このページから文書をオンラインで見るとも、**PDF** アイコンをクリックして、文書を PDF (Adobe Portable Document Format) 形式でダウンロードし、印刷することもできます。



(注) PDF ファイルを表示し、印刷するには、Adobe Acrobat Reader が必要です。これは、Adobe の Web サイト <http://www.adobe.com> からダウンロードできます。

3. お手持ちの製品について、翻訳またはローカライズされた保証情報を表示するには、次の手順を実行します。

- a. Warranty Document Number フィールドに、次の製品番号を入力します。

78-10747-01C0

- b. 文書を表示する言語を選択します。

- c. **Go** をクリックします。

Cisco warranty ページが表示されます。

- d. このページから文書をオンラインで見るとも、**PDF** アイコンをクリックして、文書を PDF (Adobe Portable Document Format) 形式でダウンロードし、印刷することもできます。

また、Cisco Service and Support の Web サイトにアクセスして、サポートを受けることもできます。

http://www.cisco.com/public/Support_root.shtml

ハードウェア保証期間

1 年間

ハードウェアに関する交換、修理、払い戻しの手順

シスコ、またはその代理店では、Return Materials Authorization (RMA) 要求を受領してから、10 営業日以内に交換部品を出荷するように商業上合理的な努力を致します。お届け先により、実際の配達所要日数は異なります。

シスコは購入代金を払い戻すことにより一切の保証責任とさせて頂く権利を留保します。

Return Materials Authorization (RMA) 番号の入手

製品を購入されたシスコの代理店にお問い合わせください。製品を直接シスコから購入された場合は、シスコの営業担当者にお問い合わせください。

次の項目を記入して、参照用に保管してください。

製品の購入先	
購入先担当者の電話番号	
製品モデル番号	
製品シリアル番号	
メンテナンス契約番号	



Index

C

C 割り込み、「割り込み」を参照

Cisco IP Phone

接続 7

登録 8

~の Web ベースのサービス 54

~のオンライン ヘルプ 17

~の機能の設定 19, 57

~の図 11

~の説明 10

~の高さの調節 8

ハンドセット受け台の確実な取り付け 8

M

Malicious Call Identification (MCID) 使用 41

Meet-Me 会議 29, 32

MLPP、使用 41

Q

QRT、使用方法 60

T

TAPS、使用 8

Tool for Auto-Registered Phones Support 8

W

WebDialer 22

あ

アイコン

コールの状態を示す 18

アクセシビリティ、機能 6

暗号化されたコール 40

安全、警告 3

安全なコール 40

い

インストール、Cisco IP Phone 7

え

エクステンション モビリティ

ログアウト 43

ログイン 43

お

応答、コールへの、~のオプション 23

オーディオに関する問題 60

オンフック ダイヤル 21

オンライン ヘルプ、使用 17
音量ボタン、説明 14

か

会議コール

Meet-Me 29, 32

標準 29, 30

回線

~の説明 18

表示 15

回線ボタン、識別 13

き

キーボード

~の説明 14

機能、~のアベイラビリティ 19, 57

機能ボタン

サービス 14

設定 14

ディレクトリ 13

ヘルプ 14

メッセージ 13

機能メニュー、使用方法 19

共有回線

~とリモートで使用中のアイコン 36

~の説明 36

プライバシーの使用 38

割り込みの使用 36

切り替え、コールの 25

く

グループコールピックアップ 34

け

警告、安全 3

こ

コール

安全な 40

応答 23

回線ごとの最大数 18

回線との違い 18

終了 24

転送 26, 28

~のアイコン 18

~の会議機能 29

~の複数の通話相手 29

~の問題のレポート 60

パーク 39

発信 20

表示 15, 25

複数の処理 25

複数の表示 26

保存と取得 39

保留と復帰 24

ミュート 25

優先順位付け 41

呼び出し中のリダイレクト 23, 34

コール アクティビティ領域、表示 15

コール ウェイティング 23

- コール処理
 - 応用的な 33
 - 基本 20
- コール転送 28
- コールパーク 39
- コールピックアップ 34
- 個人アドレス帳 (PAB)
 - ~からダイヤル 22
 - ~への登録 56

- さ
- サービス、~への登録 56
- サービスボタン、説明 14

- し
- 自動応答 46
- 自動ダイヤル 21
- 社内ディレクトリ
 - 電話機で使用 21
 - ~の Web ページからダイヤル 22
- 終了、コールの、~のオプション 24

- す
- ステータス データ、~へのアクセス 59
- ステータス行、表示 15
- スピーカフォン
 - ~で応答 23
 - ボタン、識別 14
 - モード 45
 - ~を使用中に切断 24

- せ
- 切断、~のオプション 24
- 設定ボタン、説明 14

- そ
- ソフトキー ボタン
 - ~の説明 14
 - ~のラベル 15

- た
- ダイヤル、~のオプション 20
- ダイレクト コールパーク 39
- 短縮ダイヤル 33
 - 使用方法 21
 - ボタン、識別 13
 - ラベル 15

- ち
- 着信履歴、~のレコード 50

- て
- ディレクトリ
 - 電話機で使用 21, 50
 - ~の Web ページからダイヤル 22
- ディレクトリ ボタン、説明 13
- テキスト、電話機への入力 19
- 転送、コールの、~のオプション 28
- 転送、~のオプション 26

電話回線

- ～の説明 18
- ～のボタン 13
- 表示 15

電話スクリーン

- クリーニング 16
- ～の機能 15
- ～の言語の変更 48
- ～のコントラストの調節 48

と

- トラブルシューティング 59

な

- 内線番号、表示 15
- ナビゲーション ボタン、説明 14

に

- 認証されたコール 40

ね

- ネットワーク構成データ、～へのアクセス 59

は

- 発信、コールの、～のオプション 20
- 発信履歴、～のレコード 50
- ハントグループ 44
- ハントグループのログアウト 44

ハンドセット

- 受け台への確実な取り付け 8
- 使用方法 45
- ライトストリップ 14

ふ

- ファーストダイヤルサービス
 - ～への登録 56
 - ～を使用してダイヤル 22

- 複数のコール、処理 25

- 不在履歴、～のレコード 50

- 不審なコール、トレース 41

- 復帰、使用 24

フットスタンド

- 調節 8
- ボタン、識別 13

プライバシー

- 使用方法 38
- ～と共有回線 36

- プレダイヤル 21

プログラマブル ボタン

- ～の説明 13
- ～のラベル 15

へ

ヘッドセット

- ～で応答 23
- ボタン、識別 14
- モード 45
- ～を使用中に切断 24

- ヘッドセットのパフォーマンス、全般 9

- ヘルプ、使用 17

ヘルプ ボタン、説明 14

ほ

ボイス メッセージ サービス 53

ボイス メッセージのインジケータ 53

保留

使用方法 24

～とコールの切り替え 25

～と転送 26

み

ミュート、使用 25

ミュート ボタン、説明 14

め

メッセージ

～のインジケータ 48, 53

～を聞く 53

メッセージ ボタン、説明 13

メニュー、使用方法 19

ゆ

ユーザ オプション Web ページ

～と電話機サービス 56

～へのアクセス 54

優先順位付け、コールの 41

よ

呼出音

カスタマイズ 47

～のインジケータ 14

り

リダイヤル 20

リモートで使用中のアイコン、共有回線の 36

履歴

削除 50

表示とダイヤル 50

わ

割り込み

使用方法 36

～と共有回線 36

～とプライバシー 38

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

Cisco Systems has more than 200 offices in the following countries. Addresses, phone numbers, and fax numbers are listed on the Cisco Website at www.cisco.com/go/offices

Argentina • Australia • Austria • Belgium • Brazil • Bulgaria • Canada • Chile • China PRC • Colombia • Costa Rica • Croatia • Cyprus • Czech Republic • Denmark • Dubai, UAE • Finland • France • Germany • Greece • Hong Kong SAR • Hungary • India • Indonesia • Ireland • Israel • Italy • Japan • Korea • Luxembourg • Malaysia • Mexico • The Netherlands • New Zealand • Norway • Peru • Philippines • Poland • Portugal • Puerto Rico • Romania • Russia • Saudi Arabia • Scotland • Singapore • Slovakia • Slovenia • South Africa • Spain • Sweden • Switzerland • Taiwan • Thailand • Turkey • Ukraine • United Kingdom • United States • Venezuela • Vietnam • Zimbabwe

CCSP, CCVP, Cisco Square Bridge のロゴ、Follow Me Browsing、および StackWise は、Cisco Systems, Inc. の商標です。Changing the Way We Work, Live, Play, and Learn、および iQuick Study は、Cisco Systems, Inc. のサービスマークです。Access Registrar, Aironet, ASIST, BPX, Catalyst, CCDA, CCDP, CCIE, CCIP, CCNA, CCNP, Cisco, Cisco Certified Internetwork Expert のロゴ、Cisco IOS, Cisco Press, Cisco Systems, Cisco Systems Capital, Cisco Systems のロゴ、Cisco Unity, Empowering the Internet Generation, Enterprise/Solver, EtherChannel, EtherFast, EtherSwitch, Fast Step, FormShare, GigaDrive, GigaStack, HomeLink, Internet Quotient, IOS, IP/TV, iQ Expertise, iQ のロゴ、iQ Net Readiness Scorecard, LightStream, Linksys, MeetingPlace, MGX, Networkers のロゴ、Networking Academy, Network Registrar, Packet, PIX, Post-Routing, Pre-Routing, ProConnect, RateMUX, ScriptShare, SlideCast, SMARTnet, StrataView Plus, TeleRouter, The Fastest Way to Increase Your Internet Quotient、および TransPath は、米国および一部の国における Cisco Systems, Inc. とその関連会社の登録商標です。

このマニュアルまたは Web サイトで言及されているその他の商標はすべて、それぞれの所有者のもので、「パートナー」という語の使用は、シスコと他社の提携関係を意味するものではありません。(0502R)

Copyright © 2006, Cisco Systems, Inc.
All rights reserved.

お問い合わせは、購入された各代理店へご連絡ください。



Java ロゴは、米国または一部の国における Sun Microsystems, Inc. の商標または登録商標です。



シスコシステムズ株式会社

URL:<http://www.cisco.com/jp/>

問合せ URL:<http://www.cisco.com/jp/service/contactcenter/>

〒 107-0052 東京都港区赤坂 2-14-27 国際新赤坂ビル東館

TEL.03-5549-6500 FAX.03-5549-6501